

作成日 2010年6月1日

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	MORA-EXTRACT
構成試薬名	SDS溶液 ⁺
会社情報	会社名 住所 担当部門 電話番号 FAX番号
	イーエムアール株式会社 岐阜県岐阜市大学北2丁目210番地1 研究開発部 058-293-0610 058-234-2487

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性	通常の取扱いでは危険性は低い
健康に対する有害性	吸入したり、飲み込んだ場合有害である。眼、粘膜に対する刺激作用がある。皮膚に接触した場合炎症を起こす場合がある。
環境に対する有害性	生分解性良好
GHS分類	分類できない

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名	ドデシル硫酸ナトリウム
別名	ラウリル硫酸ナトリウム
化学式	$\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{11}\text{OSO}_3\text{Na}$
分子量	288.38
濃度又は濃度範囲	1%
CAS番号	151-21-3
官報公示整理番号	(2)-1679

4. 応急処置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動させ安静保温に努める。うがいをさせる。症状があるときは、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	多量の水で石鹸を用いて洗う。炎症等があるときは、医師の手当を受ける。
目に入った場合	清浄な水で15分以上洗眼したのち、異常があれば医師の手当を受ける。洗眼の際、まぶたを良く開いて、眼球、まぶたの隅々まで水が行き渡るように洗淨する。
飲み込んだ場合	速やかに水で口をすすぐこと。医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消化剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
特定の危険有害性	火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
特定の消火方法	消火の際には煙を吸い込まないように適切な保護具を着用する。 火元の燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。
消火を行う者の保護	消火の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう、適切な処置をする。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。 火災場所の周辺は、関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。 適切な呼吸保護具、防護服等を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等の皮膚への付着、吸入がないよう注意する。風上から作業して、風下の人を退避させる。処理が終わるまで十分に換気をする。漏出場所の周辺は、関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれた場所はすべりやすいので注意する。
環境に対する注意事項	漏出した液が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないよう注意する。
回収・中和	漏出した液は、密閉できる容器に出来るだけ回収する。ウエス、雑巾等で拭き取り、可能な限り回収する。その後、多量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。取扱い場所の床面は原則としてコンクリート等の地下への浸透が防止出来る材質とする。
注意事項	使用後は容器を密閉する。 容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加える等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。 取扱い後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。 指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいならない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
安全取扱い注意事項	吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。 本製品の添付文書記載内容に従い、感染に注意して操作する。
保管	
技術的対策	保管の場所の床面は原則としてコンクリート等の地下への浸透が防止出来る材質とする。
保管条件	容器を密栓し、室温または冷蔵保管する。本製品の添付文書記載内容に従う。その他の該当する法令に従う。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	局所排気装置、取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備、安全シャワーを設置する。
管理濃度作業環境評価基準 許容濃度	設定されていない 日本産業衛生学会：設定されていない ACGIH TLV(s)：設定されていない OSHA PEL：設定されていない
保護具	マスク、保護メガネ、ゴム製手袋、保護衣、保護長靴、帽子等

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	
形状	液体
色	無色透明
臭い	わずかに特異臭
pH	7~9

10. 安定性及び反応性

安定性	法規制に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	燃焼すると分解し、一酸化炭素やイオウ酸化物を含む有毒で腐食性のガスを生じる。強酸化剤や強酸と反応する。
避けるべき条件	燃焼
混触危険物質	強酸化剤や強酸
危険有害な分解生成物	一酸化炭素やイオウ酸化物を含む有毒で腐食性のガス

11. 有害性情報

(ドデシル硫酸ナトリウム単体として)

急性毒性	経口 - ラット LD50: 1288mg/kg 腹腔内 - マウス LD50: 250mg/kg 静脈内 - マウスLD50: 118mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	皮膚 - ヒト 25mg/24時間 軽度
眼に対する重篤な損傷・刺激性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	データなし
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

(ドデシル硫酸ナトリウム単体として)

水生環境急性有害性	甲殻類(アメリカンロブスター)の96時間LC50=0.72mg/L(SIDS, 1997)
水生環境慢性有害性	生分解性良好。水溶性であり、蓄積性は低いと推測される。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	焼却法。可燃性溶剤に溶解し、スクラバーを具備した焼却炉の火室に噴霧して焼却する。これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。または、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
UN No.	該当しない
国内規制	
陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
注意事項	輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認し、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。直射日光を避ける。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	該当しない
化学物質排出把握管理促進法	第一種指定化学物質No.275
消防法	該当しない
船舶安全法	該当しない
航空法	該当しない

16. その他の情報

引用文献	1) 化学物質情報 安全衛生情報センター 2) 製品安全データシート 和光純薬工業株式会社 3) 化学物質総合情報提供システム 製品評価技術基盤機構 4) 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

この製品安全データシートは、基本的な取扱いについて記述したもので、製品の規格や安全保証を意図して作られたものではありません。

また、危険・有害性の評価は現時点で入手できる資料、情報、データ等で作成しておりますが、全ての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。